

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

# 「つながりの場」

令和7年12月18日（木）

合同会社ソラリコ

猪狩（イガリ） 僚

## 【自己紹介】



1978年 福島県いわき市生まれ

2002年 いわき市役所に入る  
水道局営業課 (2年でクビ)

2004年 市街地整備課 (1年でクビ)

2005年 公園緑地課

2009年 財政課 (この時、東日本大震災)

2013年 行政経営課 (市総合基本計画改定担当)

2016年 地域包括ケア推進課 (新設部署、初の福祉)

2017年9月 igoku (いごく) 立ち上げ

2019年 グッドデザイン賞 金賞受賞 & ファイナリスト

2020年 介護保険課 (1年でクビ)

2021年 健康づくり推進課 (1年でクビ 2年連続3度目)

2022年～ 医療対策課

2025年7月 退職 — 合同会社ソラリコ設立

## 【福島県いわき市の紹介】



福島県いわき市

人口 約 **32** 万人

面積 **1,232 km<sup>2</sup>**

23区、2つ分の大きさ

約 **9** 万人

約 **860 km<sup>2</sup>**

●活動紹介

1. igoku

## 1. 知る・場づくり

WEBのいごく



紙のいごく



## 2. 体験する・場づくり

いごくフェス開催

igoku Fes 2019



キーワード

まじめに・不真面目 ÷ 面白がる

# 1. igoku

## ●活動紹介 体験する・場づくり





GOOD DESIGN  
AWARD 2019

BEST  
100



## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-

### igokuの取材で出会った北2区集会所



かつての炭鉱地区の長屋的な集落。

旦那さんは既に亡くなった90代の女性がたくさん。

70代の後輩たちが30人のセンパイたちに、ご飯をつくる。

月に一度だけど、みんなで集まって、楽しいことをして、

ご飯を食べて、おしゃべりして、お茶を飲んで。

こんな活動を10年以上前から、誰に言わされたわけでもなく、

やっている。

## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



川前 地域振興（駅前居酒屋）

2017-18 年頃

## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



# 2023年

## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



役所を頼らず、地域の有志が古民家を借り上げ、リノベし、  
クラファンと寄付で300万円集めて、『小さな拠点』を立ち上げた！



WEBサイト

# いらっしゃいませ！ いつだれkitchenによるこそ！

いつだれkitchenは、2019年4月にスタートした「みんなのお勝手」です。「子ども食堂」ではないので、「子ども」じゃなくてもどうぞおいでください。料理を提供する人とお客様との縁引きしたくないので、「食堂」でもないんです。来たい時に来て、食べたければ食べて、お好きにどうぞと台所をかけて、「お勝手」なんです。みんなのお勝手 いつだれkitchenへようこそ。

## スタッフ

実は、介護や障害などの福祉の専門職の集まりなんです。ご飯食べがてら、気泡に相談してくれてもOKですし、普通の飲食店に行くのが難しいなんてケースもどうぞお越しください。

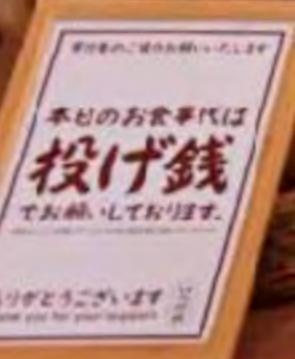
管理栄養士

社会福祉士  
主任ケアマネ

NPO 法人  
代表

## 投げ銭

その時頂いた食材を料理にするので、決まったメニューも料金表もありません。置いてあるBINの中へ、あなたのお気持ちをお入れください。



## 頂き物の 食材

作りすぎたり、もらひすぎた野菜やお米。台所に眠っている調味料、食べきれない、使い切れない。でも、捨てるには忍びない。そんな食材がありましたらお持ちください。温かい料理にして、みんなで食べましょ。

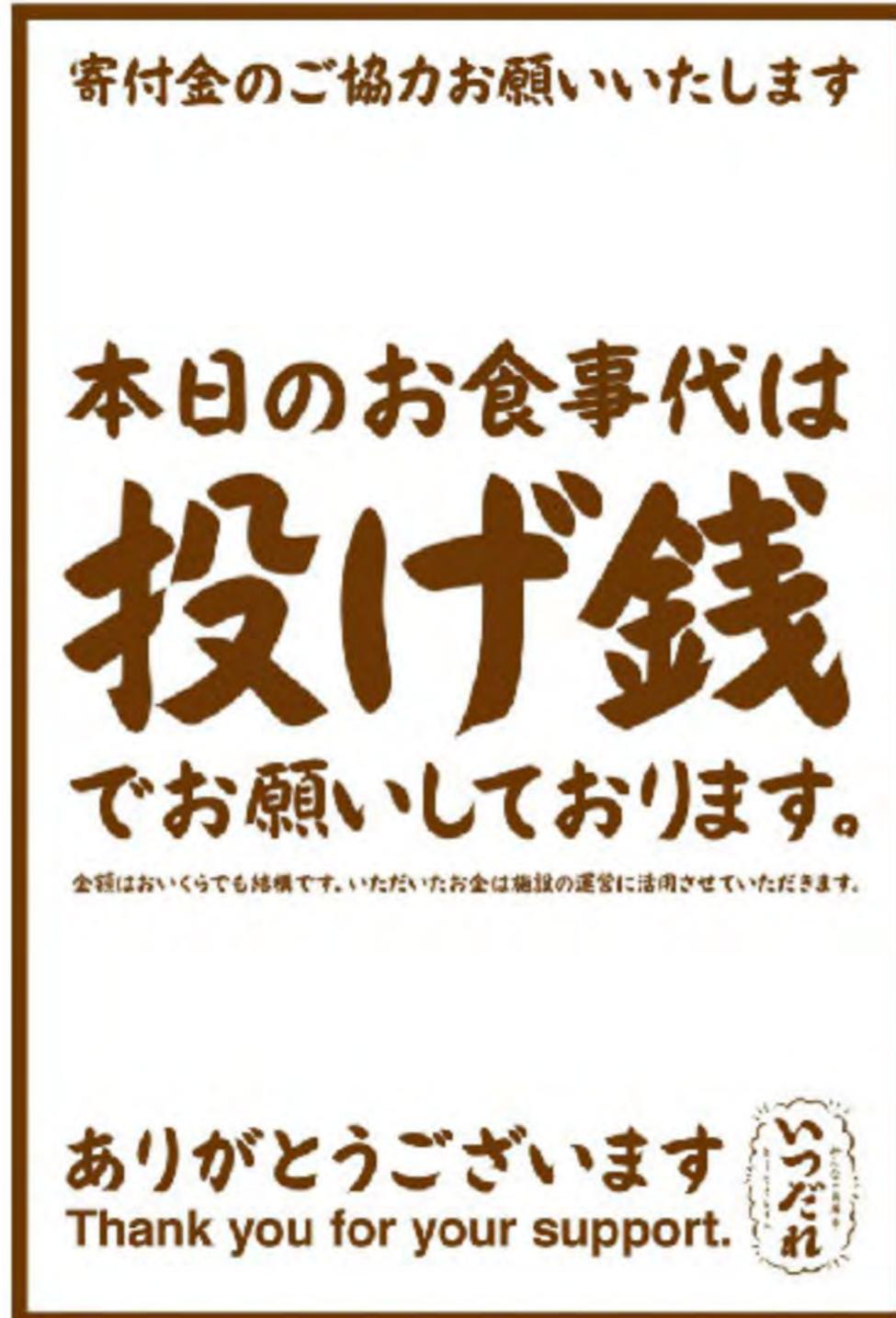




## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



## 2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-

### いつだれkitchenのお茶の先生

いつだれに来た80代女性。

記憶は30分ぐらいしかありません。認知症です。

聞くと、かつてはお茶の先生だったとのこと。

ある日、「私、みんなにお茶を振舞ってもいい？」

それから、毎回、お茶の道具を持参して、

食後、まわりのお客さんにお茶を振る舞うように。

今や免許も失効しながらも、ボランティアで

みんなが送迎し、毎週水曜はオレンジカフェの、

毎週木曜はいつだれkitchenのスタッフとして

大活躍しています。



\Keyword/  
くくらない  
呪いの解放



\Keyword/  
“場”のチカラ  
“食”のチカラ



## 「カリフォルニア から来た娘」

カリフォルニアから来た娘症候群とは、これまで高齢の親と疎遠な関係にある遠方の親族が、終末期医療の場面で、これまで近隣の親族や医療チームと時間をかけて築き上げてきた合意を覆し、そのケアに異議を唱えたり、患者の延命治療を強く求める状況を指す言葉

大事なポイント 「する」ではなく「いる／寄り添う」

「少しでも（一緒に）いる」

「する」のではなく、

難しくても、短くても

「一緒にいる」

↑ (私たち福祉) 行政にも言えませんか？

(何かを) する／事業・予算化に偏ってない？

# 「場」と「食」のチカラ

